【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2000-272805(P2000-272805A)
【公開日】平成12年10月3日(2000.10.3)
【出願番号】特願平11-84745
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　31/00　　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　 5/06　　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　31/00　　Ｂ
Ｂ６５Ｈ　 5/06　　Ｄ
Ｇ０３Ｇ　15/00　５３０

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　画像をシート材に形成する画像形成手段を有する画像形成装置において、
前記画像が形成されたシート材が載置され、前記画像形成装置本体に開閉可能であり、閉じた場合に、前記画像形成装置本体の第１の回転体に圧接して前記シート材を搬送する第２の回転体、を担持すると共に、前記画像形成装置本体の壁面に支持される回転体担持手段と、
前記回転体担持手段、及び前記画像形成装置本体の壁面のうちの少なくともいずれか一方に支持されるシート材ガイド手段と、を備え、
前記回転体担持手段が開いた場合に、前記回転体担持手段と前記シート材ガイド手段とにより形成されるシート材積載面の下部に、前記第２の回転体が配置されることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】　前記シート材ガイド手段が、
前記回転体担持手段、及び前記画像形成装置本体の壁面のうちの一方に軸支され、他方に摺動自在に接続されていることを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】　前記シート材ガイド手段が、
前記画像形成装置本体の壁面に軸支され、
前記回転体担持手段が、
前記壁面において、前記シート材ガイド手段が軸支されている位置よりも下側で前記壁面に軸支され、前記シート材ガイド手段が摺動自在に接続されることを特徴とする請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項４】　前記回転体担持手段が、
前記シート材をガイドするガイド部を備え、
前記第２の回転体が、
前記ガイド部の間に設けられていることを特徴とする請求項３に記載の画像形成装置。
【請求項５】　前記シート材を載置すると共に、前記回転体担持手段に設けられた補助載置手段を備えることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像形成装置

。
【請求項６】　前記回転体担持手段が、
自身の側面にレール部を備え、
前記補助載置手段が、
該レール部を摺動する伸縮ガイド手段を備えることを特徴とする請求項５に記載の画像形成装置。
【請求項７】　前記補助載置手段が、前記回転体担持手段の略縁辺部に軸支され、
該補助載置手段が、
前記回転体担持手段が開いた場合、
前記略縁辺部の軸支点を中心に回動することにより、前記回転体担持手段に対して、畳み込み、及び開きが自在であることを特徴とする請求項５に記載の画像形成装置。
【請求項８】　画像をシート材に形成する画像形成手段を有する画像形成装置において、
前記画像が形成されたシート材が載置され、前記画像形成装置本体に開閉可能であり、閉じた場合に、前記画像形成装置本体の第１の回転体に圧接して前記シート材を搬送する第２の回転体、を担持する担持面と、該担持面と逆側である、開いた場合に、前記シート材が載置される載置面とを有する回転体担持手段と、
前記回転体担持手段を開き、かつ前記載置面を上側にした状態に保持するための保持手段と、を備えることを特徴とする画像形成装置。
【請求項９】　前記保持手段が、
前記画像形成装置本体の壁面に軸支された支持手段と、
前記回転体担持手段を開いた状態に固定する固定手段と、を備え、
前記回転体担持手段が、
前記支持手段と軸支されることを特徴とする請求項８に記載の画像形成装置。
【請求項１０】　前記回転体担持手段が、
該回転体担持手段の前記第２の回転体を担持する担持面と同じ面に形成され、前記画像形成手段によって画像が形成されるシート材の搬送をガイドするガイド部を備え、
前記第２の回転体が、
前記ガイド部の間に設けられていることを特徴とする請求項９に記載の画像形成装置。
【請求項１１】　前記シート材を載置すると共に、前記回転体担持手段に設けられた補助載置手段を備えることを特徴とする請求項８から１０のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１２】　前記回転体担持手段が、
自身の側面にレール部を備え、
前記補助載置手段が、
該レール部を摺動する伸縮ガイド手段を備えることを特徴とする請求項１１に記載の画像形成装置。
【請求項１３】　前記補助載置手段が、前記回転体担持手段の略縁辺部に軸支され、
該補助載置手段が、
前記回転体担持手段が開いた場合、
前記略縁辺部の軸支点を中心に回動することにより、前記回転体担持手段に対して、畳み込み、及び開きが自在であることを特徴とする請求項１１に記載の画像形成装置。
【請求項１４】　シート材を搬送する搬送手段と、
装置本体に対して開閉可能に支持され、開いた状態で前記搬送手段によって搬送されるシート材が積載される積載部を有する積載手段とを有し、
前記積載手段は、装置本体に対して閉じた状態において、装置本体に設けられたガイドと協働してシート材の搬送路を形成するガイド部と、装置本体に設けられた搬送回転体と協働してシート材を挟持して搬送する回転体とを有し、
前記積載手段を開いた状態では、前記積載部が前記回転体より上方に位置するように配置されていることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項１５】　前記回転体と前記積載部とは、前記積載手段の反対側に設けられ、前記積載手段を開いた状態で、前記積載部は前記積載手段の上側に位置し、前記回転体は前記積載手段の下側に位置することを特徴とする請求項１４に記載のシート搬送装置。
【請求項１６】　前記回転体と前記積載部とは、前記積載手段の同じ側に設けられ、前記積載手段を開いた状態で、前記積載部の一部が前記回転体の上方に位置するように構成されていることを特徴とする請求項１４に記載のシート搬送装置。
【請求項１７】　前記積載部の一部は装置本体と前記積載手段の両方に連結され、前記積載手段を開いたとき前記回転体の上方に位置するように構成されていることを特徴とする請求項１６に記載のシート搬送装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するため、本発明に係る画像形成装置は、画像をシート材に形成する画像形成手段を有する画像形成装置において、前記画像が形成されたシート材が載置され、前記画像形成装置本体に開閉可能であり、閉じた場合に、前記画像形成装置本体の第１の回転体に圧接して前記シート材を搬送する第２の回転体、を担持すると共に、前記画像形成装置本体の壁面に支持される回転体担持手段と、前記回転体担持手段、及び前記画像形成装置本体の壁面のうちの少なくともいずれか一方に支持されるシート材ガイド手段と、を備え、前記回転体担持手段が開いた場合に、前記回転体担持手段と前記シート材ガイド手段とにより形成されるシート材積載面の下部に、前記第２の回転体が配置されることを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
さらに、上記目的を達成するため、本発明に係る画像形成装置の一態様によれば、画像をシート材に形成する画像形成手段を有する画像形成装置において、前記画像が形成されたシート材が載置され、前記画像形成装置本体に開閉可能であり、閉じた場合に、前記画像形成装置本体の第１の回転体に圧接して前記シート材を搬送する第２の回転体、を担持する担持面と、該担持面と逆側である、開いた場合に、前記シート材が載置される載置面とを有する回転体担持手段と、前記回転体担持手段を開き、かつ前記載置面を上側にした状態に保持するための保持手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
また、前記回転体担持手段が、該回転体担持手段の前記第２の回転体を担持する担持面と同じ面に形成され、前記画像形成手段によって画像が形成されるシート材の搬送をガイドするガイド部を備え、前記第２の回転体が、前記ガイド部の間に設けられていることを

特徴とする。